



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 AIメカテック株式会社 上場取引所 東
コード番号 6227 URL <https://www.ai-mech.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 阿部 猪佐雄
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 米田 達也 (TEL) 0297-62-9111
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績(2023年7月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	1,377	5.6	△545	—	△559	—	△393	—
2023年6月期第1四半期	1,304	△50.8	△512	—	△570	—	△403	—

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 △381百万円(—%) 2023年6月期第1四半期 △404百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年6月期第1四半期	円 銭 △69.91	円 銭 —
2023年6月期第1四半期	円 銭 △71.62	円 銭 —

(注) 2023年6月期第1四半期及び2024年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年6月期第1四半期	百万円 21,786	百万円 8,351	% 38.3	円 銭 1,483.10
2023年6月期	22,134	8,986	40.6	1,595.88

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 8,349百万円 2023年6月期 8,984百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 45.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,031	29.6	1,415	143.5	1,300	177.0	884	△25.9	157.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年6月期1Q	5,630,000株	2023年6月期	5,630,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年6月期1Q	120株	2023年6月期	20株
------------	------	----------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年6月期1Q	5,629,908株	2023年6月期1Q	5,629,980株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、総じて回復基調が続きましたが、欧米中央銀行を中心とする金融引締め継続による長期金利上昇や、不動産市場の停滞に端を発した中国の成長鈍化などにより、先行きへの懸念が高まりました。国内経済は、エネルギー価格の上昇や、円安進行による物価上昇など下押し材料はあるものの、雇用・所得環境改善を背景に持ち直しの動きが続きました。

当社グループの事業環境について、半導体業界においては、半導体市況の低迷は続いたものの、生成AIサーバー用を中心とする先端半導体向け投資需要は拡大し、フラットパネルディスプレイ（FDP）業界では、LCD向けを中心にパネル市況の低迷による投資抑制が続く一方、マイクロディスプレイなど次世代ディスプレイ向け投資需要は堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の当社グループの受注金額は3,878百万円（前年同期比5.2%増）、受注残高は23,090百万円（前年同期比38.6%増）となりました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,377百万円（前年同期比5.6%増）、営業損失545百万円（前年同期は営業損失512百万円）、経常損失559百万円（前年同期は経常損失570百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失393百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失403百万円）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

(IJPソリューション事業)

中国・台湾を中心に、メタバース分野での適用拡大が期待されるマイクロディスプレイ（OLED_oS、 μ LED_oS等）向け一括封止ラインの引き合いが活発な一方、顧客の設備計画見直しにより受注タイミングが翌四半期以降へずれ込む案件も散見されました。

今後は、引き続きマイクロディスプレイ向け封止ライン需要の捕捉に注力することに加え、スマートグラス等の次世代コミュニケーションツール向け投資需要拡大をにらみ、(株)オプトランとの合弁によるナノインプリントリソグラフィ事業の展開を通じ、受注積み上げ・売上げ拡大を図って参ります。

このような状況のもと、当セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は248百万円（前年同期比10.9%減）、セグメント損失は75百万円（前年同期は56百万円の損失）となりました。

(半導体関連事業)

生成AIサーバー用先端半導体向け投資需要の拡大を受け、対応する先端パッケージにおけるウェハ薄板化に重要な役割を果たすウェハハンドリングシステムを中心に、受注は順調に積みあがりました。また、はんだボールマウンタ等で前期出荷予定案件の当期へのずれ込みもあり、売上も順調に立ち上がりました。

今後は、ウェハハンドリングシステムに加え、パワー半導体向けプラズマ装置需要の捕捉、JUKI（株）との共同開発によるはんだボールマウンタ新機種の新機種の市場投入により、一層の受注積み上げ・売上げ拡大に取り組んで参ります。

このような状況のもと、セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は1,058百万円（前年同期比291.4%増）、セグメント損失は20百万円（前年同期は14百万円の利益）となりました。

(LCD事業)

IT機器需要減によるパネル市況の低迷を受けた投資抑制が続き、受注・出荷とも振るいませんでした。今後は、パネル市況の動向を見極めながら、部品・改造などのアフターサービス需要の掘り起こしを中心に、中型パネルの新規投資需要の捕捉にも注力し、一定規模の受注・売上確保を目指して参ります。

このような状況のもと、当セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は70百万円（前年同期比90.6%減）、セグメント損失は38百万円（前年同期は173百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ480百万円減少し、19,377百万円となりました。主として、仕掛品1,326百万円の増加、並びに、売掛金及び契約資産1,547百万円、未収入金704百万円の減少によるものであります。

有形固定資産は、前連結会計年度末から133百万円増加し、2,276百万円となりました。

無形固定資産は、前連結会計年度末から1百万円増加し、29百万円となりました。

投資その他の資産は、前連結会計年度末から2百万円減少し、103百万円となりました。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末から347百万円減少し、21,786百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ519百万円増加し、12,375百万円となりました。主として、短期借入金1,200百万円の増加、並びに、電子記録債務437百万円、買掛金486百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ232百万円減少し、1,059百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ635百万円減少し、8,351百万円となりました。主として、親会社株主に帰属する四半期純損失393百万円を計上したことによる減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績及び今後の動向を勘案した結果、現時点においては、2023年8月8日公表の「2023年6月期 決算短信」に記載の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,713,839	2,821,497
売掛金及び契約資産	8,777,809	7,230,694
電子記録債権	57,662	131,281
半製品	1,577,148	1,839,273
仕掛品	5,598,127	6,924,502
原材料	5,625	6,304
未収入金	1,050,357	345,603
その他	78,940	79,664
貸倒引当金	△1,918	△1,351
流動資産合計	19,857,592	19,377,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	310,860	304,677
機械装置及び運搬具（純額）	878,146	909,327
工具、器具及び備品（純額）	54,041	52,285
土地	656,000	656,000
リース資産（純額）	67,841	64,207
建設仮勘定	175,997	290,137
有形固定資産合計	2,142,887	2,276,634
無形固定資産		
ソフトウェア	27,902	29,033
無形固定資産合計	27,902	29,033
投資その他の資産		
その他	105,671	103,284
投資その他の資産合計	105,671	103,284
固定資産合計	2,276,461	2,408,952
資産合計	22,134,054	21,786,424

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	2,411,749	1,974,258
買掛金	2,467,377	1,980,817
短期借入金	5,200,000	6,400,000
1年内返済予定の長期借入金	50,000	91,500
リース債務	15,869	15,901
未払金	396,543	210,623
未払費用	295,346	232,930
未払法人税等	123,284	13,707
前受金	473,525	910,594
賞与引当金	272,989	416,491
役員賞与引当金	26,500	8,452
製品保証引当金	51,232	53,232
受注損失引当金	1,165	—
その他	69,879	66,497
流動負債合計	11,855,464	12,375,007
固定負債		
長期借入金	425,000	371,000
リース債務	59,302	55,315
役員退職慰労引当金	48,198	50,278
退職給付に係る負債	448,341	437,066
繰延税金負債	311,015	146,114
固定負債合計	1,291,858	1,059,774
負債合計	13,147,322	13,434,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,000	450,000
資本剰余金	4,215,238	4,215,238
利益剰余金	4,194,378	3,547,417
自己株式	△30	△246
株主資本合計	8,859,586	8,212,409
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	90,839	105,060
退職給付に係る調整累計額	34,332	32,199
その他の包括利益累計額合計	125,172	137,259
新株予約権	1,973	1,973
純資産合計	8,986,731	8,351,642
負債純資産合計	22,134,054	21,786,424

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,304,226	1,377,693
売上原価	1,154,308	1,285,407
売上総利益	149,918	92,285
販売費及び一般管理費	661,957	637,679
営業損失(△)	△512,039	△545,393
営業外収益		
受取利息	1,970	4,039
為替差益	—	559
その他	29	86
営業外収益合計	1,999	4,686
営業外費用		
支払利息	6,587	11,486
アレンジメントフィー	37,500	—
コミットメントフィー	4,254	2,658
為替差損	10,718	—
持分法による投資損失	—	2,566
その他	1,366	1,970
営業外費用合計	60,427	18,681
経常損失(△)	△570,467	△559,388
税金等調整前四半期純損失(△)	△570,467	△559,388
法人税、住民税及び事業税	6,956	△1,808
法人税等調整額	△174,193	△163,967
法人税等合計	△167,236	△165,776
四半期純損失(△)	△403,230	△393,612
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△403,230	△393,612

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△403,230	△393,612
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△235	14,220
退職給付に係る調整額	△1,260	△2,133
その他の包括利益合計	△1,495	12,087
四半期包括利益	△404,726	△381,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△404,726	△381,524

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社オプトランとの合弁会社ナノリソティックス株式会社を新設したことにより、持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

売上高の季節的傾向

前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

当社グループの売上高は、中国・台湾・韓国といったアジア圏の顧客からの受注タイミングとの兼ね合いから、第1四半期から第3四半期連結累計期間の売上高に比べ、第4四半期連結累計期間の売上高が多くなる傾向があります。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	I J P ソリ ューション 事業	半導体 関連事業	L C D 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	278,761	270,416	755,049	1,304,226	—	1,304,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	278,761	270,416	755,049	1,304,226	—	1,304,226
セグメント利益又は損失(△)	△56,753	14,336	△173,783	△216,201	△295,838	△512,039

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△295,838千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社における売上原価・一般管理費△295,838千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	I J Pソリ ューション 事業	半導体 関連事業	L C D 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	248,488	1,058,447	70,757	1,377,693	—	1,377,693
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	248,488	1,058,447	70,757	1,377,693	—	1,377,693
セグメント損失(△)	△75,804	△20,296	△38,716	△134,816	△410,576	△545,393

(注) 1. セグメント損失の調整額△410,576千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社における売上原価・一般管理費△410,576千円でありま
す。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年9月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、2023年10月2日から10月20日の期間に自己株式を取得いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため自己株式の取得を行うものであります。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|---|
| (1) 取得対象株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 100,000株 (上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.78%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 350,000,000円 (上限) |
| (4) 取得期間 | 2023年10月2日～2023年10月31日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

3. 自己株式の取得結果

- | | |
|----------------|------------------------|
| (1) 取得対象株式の種類 | 普通株式 |
| (2) 取得した株式の総数 | 93,600株 |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 349,712,500円 |
| (4) 取得期間 | 2023年10月2日～2023年10月20日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |